

古今東西  
テーマ別文学全集

# 書物の王国

全20巻

架空の町 分身  
夢 吸血鬼  
王侯 芸術家  
月 美食  
植物 奇跡  
鉱物 復讐  
人形 怪獣  
美少年 妖怪  
両性具有 王朝  
同性愛 義経

国書刊行会

菊判(218ミリ×152ミリ)  
上製ジャケット装・平均240頁  
平均予価2100円 毎月配本  
表紙=妹尾浩也

第1回配本(二冊同時刊行)

1……架空の町

8……美少年

‘97年10月刊 予価各2100円(税別)

第2回配本

6……鉱物

‘97年11月刊

以降は毎月一冊刊行

国書刊行会

〒174 東京都板橋区志村2-10-5

TEL 03-5970-7421

FAX 03-5970-7427

国外、漱石、シェイクスピア、バルザック等はもちろんのこと、ギリシア神話、中国の怪談、インドの説話、江戸の随筆、そして現代文学まで、時間の枠、国の枠を超えたまったく新しい文学アンソロジー。

古今東西の文学作品に繰り返し現れる、不思議で魅力溢れるテーマ別に各巻を編集。

従来のアンソロジーではほとんど視野に入っていなかった日本の古典文学も、香り高い現代語訳で多数収録。

# 1 架空の町

【第1回配本】

ユートピア、隠れ里、異界…… 私たちの秘かな願望を託された《架空の町》のさまざまな姿、幻想の市街地図。

幸福の島 プリニウス【博物誌】◆武陵桃林 陶淵明【搜神後記】  
◆申陽洞記 瞿宗吉【剪燈新話】◆夢路の風車 井原西鶴【西鶴諸国ばなし】◆青銅の町の綺談【千夜一夜物語】◆眠れる都市 マルセル・シュウオブ ◆眠い町 小川未明 ◆ロンドンの物語 ダンセイニ卿 ◆トレン、ウクバル、オルビス・テルティウス J・L・ホルヘス ◆薄い街 稲垣足穂 ◆鐘樓の悪魔 E・A・ボオ ◆ロンジュモーの囚人たち レオン・プロウ ◆猫町 萩原朔太郎 ◆猫町紀行 つげ義春 ◆闇の路地 ジャン・レイ ◆N アーサー・マッケン ◆高棧敷 泉鏡花 ◆ママゴト 城昌幸 ◆街の中にタイムトンネルを見つけた 中井英夫 ◆大方ラバーニュー旅行記 アンリ・ミショー ◆街 チェスタトン ◆蟻走痒感 安西冬衛 ◆ほか

# 8 「美少年」

【第1回配本】

彼らはほんとうに「元々地上には属さなかった」のだろうか？ ギリシア神話のナルシスから、森茉莉のジェニまで、あえかな美少年たちが勢揃い。

ソネット シェイクスピア ◆プロトレイオスの美童 アイリアス【ギリシア奇談集】◆小草履取 財津種英【むかしむかし物語】◆不破万作の情【新著聞集】◆ナルシス リルケ ◆星は北に拱く夜の記 稲垣足穂 ◆マルセイユの幻影 ジャン・コクトー ◆アキレウスあるいは嘘偽 マルグリット・ユルスナール ◆美少年 岡本かの子 ◆箒の美少年 劉義慶【幽明録】◆金色の蛇 森茉莉 ◆美少年 ダフネ・デュ・モーリエ ◆黄九郎 蒲松齡【聊齋志異】◆美童長坂小輪 井原西鶴【男色大鑑】◆山賊の美童【万世百物語】◆舶来幻術師 日影丈吉 ◆アブ・ノワスに三人の美少年とハルン・アル・ラシッド教主【千夜一夜物語】◆月と美童 北原白秋 ◆お小姓児太郎 室生犀星 ◆艶容万年若衆 三上於菟吉 ◆孔雀 三島由紀夫 ◆血の小姓 村山塊多 ◆塊多【二少年図】江戸川乱歩 ◆児ヶ淵 郡司正勝 ◆茨城智雄 石川鴻斎【夜窓鬼談】◆ほか



一冊の書物は決して一冊の書物でないという単純かつ十分な理由からして、文学は無敵である。書物は孤立したものではない。それはひとつの関係、無数の関係の軸である。ある時代の文学は前後する別の時代の文学と異なっているが、それはテキストそのものではなく、読まれ方による。

J・L・ボルヘス

過去・現在・未来のすべての詩篇は、この世のすべての詩人によって書かれた一編の無限詩の挿話ないし断片である。

シェリー

編集

須永朝彦/東 雅夫/南條竹則/服部 正/高原英理/国書刊行会編集部/ほか

# 6 鉱物

【第2回記本】

石、宝石、結晶……無機物たちへの愛と憧憬。

石の夢 渡澤龍彦 ◆雲根志 木内石亭 ◆馬鹿石、泥石 ジョルジュ・サンド ◆異石 杜光庭『録異記』 ◆狐の珠 戴孚『広異記』 ◆石髓 葛洪『神仙伝』 ◆石山盤龍乃事 榎岸鎮衛『耳袋』 ◆懐中へ入った石『梅翁随筆』 ◆動く石 柴田省曲 ◆室の中を歩く石 田中貢太郎 ◆ファールンの鉱山 E・T・A・ホフマン ◆山の親方 パジョーフ ◆石の言語 アンドレ・ブルトン ◆鍾乳石 ビエール・ガスカール ◆貝の火 宮沢賢治 ◆青色夢硝子 加藤幹也 ◆石の女 ビエール・ド・マンティアルグ ◆岩 オマハ族の歌 ◆石 西條八十 ◆巡礼のひとりごと ヴォルケル ◆氷柱糖 長野まゆみ ◆石清虚 蒲松齡『聊齋志異』 ◆妖気噴く石 石上肇 ◆ほか

## 1……架空の町【第1回記本】

## 2……夢

《夢》はわれわれの第二の人生なのか？ 夢文学万華鏡。「夢の卵」(豊島与志雄)、「大きな闇」(トゥエイン)、「蟻の穴の夢」(搜神記)ほか。

## 3……王侯

ひとびとの憧れの具現化、王侯たちの壮麗かつ悲惨な物語の数々。「月の王」(アポリネール)、「白峰」(上田秋成)ほか。

## 4……月

青白き球体の秘めやかな狂気への誘い。「サンタトリバイナ」(ユーカラ)、「月に撃たれて」(ケイベス)ほか。





## 5……植物

文学に現れたフローラ幻想の諸相。  
「乳母ざくら」(小泉八雲)、「緑の想い」(コリア)ほか。

## 6……鉱物【第2回記本】

## 7……人形

魂なきもののおやしい虚無の誘惑。  
「クリーブ家のパーバラ」(ハーディー)、「人形づくり」(北原白秋)ほか。

## 8……美少年【第1回記本】

## 9……両性具有

男装の美女、カストラート、アンドロギュヌス……いざ、ジェンダーの彼方へ。  
「サラジヌス」(バルザック)、「コントラルト」(ゴッティエ)、「異説蝶々夫人」(日影丈吉)ほか。

## 10……同性愛

異形の愛か？ 禁断の愛か？ 聖なる愛か？  
「石神不意人」(小栗虫太郎)、「二国連壁談」(平秋東作)、「沈黙の人」(大手拓次)ほか。

## 11……分身

ドッベルゲンガー、二重人格……もう一人のわたし探し。  
「出羽の国杉山兵部が妻かけの煩の事」(諸国百物語)、「あめんちあ」(富ノ澤麟太郎)ほか。

## 12……吸血鬼

ドラキュラ伯爵の祖先と末裔による血とエロスの饗宴。  
「断章」(バイロン)、「ベレニス」(ボオ)ほか。

## 13……芸術家

この世に存在する最もふしぎな人間どもの肖像画。  
「魚女機」(森鷗外)、「宮廷画家の寵児」(ペイター)ほか。



## 14……美食

食えるものも食えないものも、幻影のガストロノミー。  
「珍饈会」(幸田露伴)、「ディカーニカ近郷夜話」(ゴグリ)、「諷刺詩」(ユウエナーリス)ほか。

## 15……奇跡

聖人伝説からクリスマス・ストーリーまで……日常と神祕のはざまの探求。  
「クリスマスの夜」(モーパッサン)、「裸の聖者」(ヴァッテンローター)ほか。

## 16……復讐

人はなぜ苛烈な復讐をしなければならぬか？  
「ノースモア卿夫妻の転落」(ジェイムズ)、「列伝」(司馬遼)、「タマンゴ」(メリメ)ほか。

## 17……怪獣

現実を侵犯する巨大なものたち——怪獣小説のオンパレード。  
「凱旋祭」(泉鏡花)、「オランダ狂乱」(アリオスト)ほか。

## 18……妖怪

人にして人にあらずるものたち、文学版百鬼夜行絵巻。  
「美人首」(蒲松齡)、「稲生物怪録」(平田篤胤)ほか。



## 19……王朝

みやびなる時の流れの物語。  
「貝合」(堤中納言物語)、「無月物語」(久生十蘭)ほか。

## 20……義経

《源義経》はどうしてこうまで繰り返し繰り返し文学化されるのだろうか？  
「御曹子鳥渡」(御伽草子)、「清水詣」(与謝野晶子)ほか。